

薬物依存症とその回復を理解する勉強会・木津川ダルク開設記念フォーラム「新たなる挑戦」

特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所 木津川ダルク
〒619-0214 京都府木津川市木津内田山 117 番地

助成事業の概要

京都府南部地域で薬物問題にお困りの方に対して、薬物依存症の理解とその回復や対処方法などをお伝えするとともに、平成 28 年に施行される「薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部の執行猶予に関する法律」に伴う、新たな回復支援を実践するための知識をダルク実践と共に学ぶ。平成 26 年 6 月 14-15 日にて行い木津川市中央交流会館を利用

14 日（土）13:30-17:00 は「薬物依存とその回復を理解する」と題して勉強会を開催。

内容は、国立精神・神経医療研究センター 嶋根卓也 氏「脱法ドラッグを使う若者たち～変わる薬物・変わる治療～」、立正大学 丸山泰弘 氏「注目されるハーム・リダクション政策」、東京ダルク 森田邦雅 氏「ダルクでの支援とは」より報告頂いた。

15 日（日）13:30-17:00 は木津川ダルク開設記念フォーラム「新たなる挑戦～多様な支援とその回復」を開催。

内容は、シンポジウムと各ダルク（20 施設）からの報告、木津川ダルク利用者による体験発表等。シンポジウムでは、奈良保護観察所 西崎勝則 氏「依存症ケースにかかる支援業務の実際と展望について」、汐ノ宮温泉病院 中元総一郎 氏「薬物依存者との出会いと条件反射制御法」、龍谷大学法科大学院 石塚伸一 氏「ダルクとわたしの 20 年」、NPO 法人 APARI 近藤恒夫 氏「30 周年を迎えるダルク」で行いました。

事業の成果

14 日（土）13:30-17:00「薬物依存とその回復を理解する」勉強会

参加者総数：77 名（資料代支払い者：57 名、資料代免除者：20 名）

保護観察官、保護司、弁護士、精神保健センター職員、日本ヨーガ療法士、産業カウンセラー、教育機関関係者、臨床心理士、保健師、精神保健福祉士、家族、ダルク等回復支援施設職員、薬物依存当事者など多様な領域からの参加があり、50 名と予定していたが、最終的に 77 名の参加者となりました。質疑応答なども若年層への影響やハーム・リダクションへの質問などあり活発な議論ができた。

会場で行ったアンケートにも 16 名の方から回答を頂いた。

このイベントが役に立つが 12 名、役に立たないが 0 名、わからないが 1 名、未記入 3 名でした。

アンケート感想（他 12 件有）

・関係者の存在を知る機会になった。今後の支援に生かしたい。（保健師）

・結局、生き方を考え直すことしか、根本的な解決には結びつかないと思います（保護観察官）

15 日（日）13:30-17:00 は木津川ダルク開設記念フォーラム「新たなる挑戦～多様な支援とその回復」

参加総数：200 名以上（記帳 191 名）

北は北海道から南は沖縄まで全国から参加者があった。京都府内からは 35 名程度と若干少なめ

であった。しかし、関西圏は多数の関係機関から参加いただけた。

会場で行ったアンケートにも 22 名の方から回答を頂いた。

このイベントが役に立つが 20 名、役に立たないが 0 名、わからないが 1 名、未記入 1 名でした。

アンケート感想（他 15 件有）

・薬物問題に経験がなかったが、このフォーラムを通じて一定の知識が得られた。（保護司）

・とても参考になりました。来てよかったと思います。（ご家族）

・やっぱり知ることによって共感できたり共有できたりすることは大切に思います。（ヨガ療法士）

2 日間を通して京都府南部の木津川市にダルクが出来た事を知って頂き、薬物依存者回復支援の要となる足がかりが作れた。その後、数件の相談や講演依頼があった。

「HOPE」をお送りし、引き続き薬物依存者の回復に関心を持っていただき、今回のように定期的にイベント開催し、支援者や理解者を増やしていく。

・26 年 12 月 13 日 14 日の 2 日間、アパリウエストとして、「これからの回復支援～ダルクの向かう未来～」というイベントもいくつかのダルクの協力の下開催することが出来た。

・薬物依存者家族向け勉強会として、27 年 1 月より月一回の家族教室を行うこととした。

成果の広報、公表

・5 月 26 日（月）の京都新聞山城版に当イベントの案内記事が掲載された。

・6 月 15 日（日）の京都新聞山城版に勉強会の記事と当日のフォーラム開催の告知が掲載された。

・6 月 30 日（月）の京都新聞山城版に「脱法ハーブの危険性」として勉強会・フォーラムの記事が掲載された。

・Facebook 木津川ダルクのページにて 4 回程度イベント報告を掲載。イベント終了後から「いいね」が 120% 増となった。現在、木津川ダルクに「いいね」を下さった方が 600 件を超えた。

今後の展開

・今回参加して下さった方々に、薬物依存症とその回復について木津川ダルクニュースレター